

**TSK**

PAT

**AS**  
GUARD FENCE

アズガードフェンス®



### Anywhere

大型重機が不要で崩壊土砂防護柵が設置可能。

### Split

支柱と鋼管杭が上下分割式。狭小地への運搬がし易い。

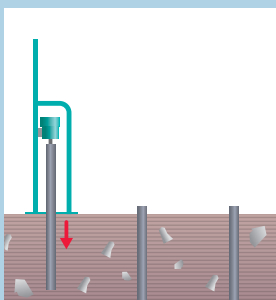
### Guard

土砂だけでなく落石も(200kJ)捕捉でき、積雪にも対応可能。



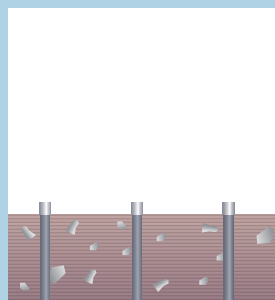
## 施工手順

### 1. 鋼管杭設置



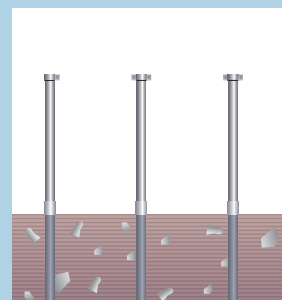
支柱設置位置にフィードをセットし、エアハンマーにて鋼管杭を設置します。

### 2. パイプカプラー設置



パイプカプラーを鋼管杭頭部に取り付けます。

### 3. 支柱組立・建込



内管を支柱に挿入し、頭部を固定ボルトにて一体化します。

# 実物大実証実験

実験動画は  
コチラ



## 崩壊土砂の捕捉性能検証

### [実験条件]

斜面高さ	H=26m	柵高	H=3.0m
斜面勾配	$\theta u=48^\circ$	延長	L=14m (2.0m×7)
流下土砂量	V=50.0m <sup>3</sup> ×3回		



実験状況



土砂捕捉

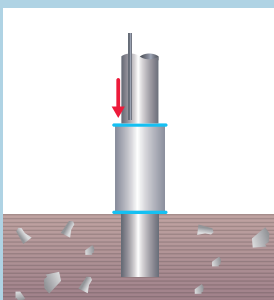
## 落石の捕捉性能検証 【落石対策便覧に準拠】

### [実験条件]

衝突エネルギー	227kJ	柵高	H=3.0m
衝突速度	25.7m/sec	延長	L=9.0m (3.0m×3)
重錘重量	0.69t		

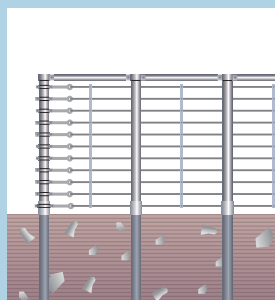


### 4. 接続部締結・漏れ防止処理



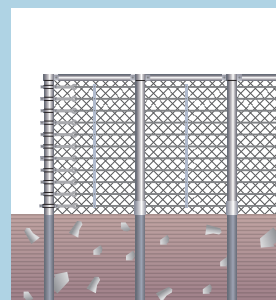
パイプカプラーと支柱の間にスペーサーロッドを挿入し、パイプカプラーの上下の隙間をコーキング等でセメントミルクの漏れ防止処理を行います。

### 5. サポート・ワイヤロープ・間隔保持材取付



横ロープを設置延長に合わせて展開し、サポート・間隔保持材を設置します。

### 6. 金網・補助金網取付



金網を設置延長に合わせて展開し、裾部に補助金網を設置します。

崩壊土砂および落石仕様

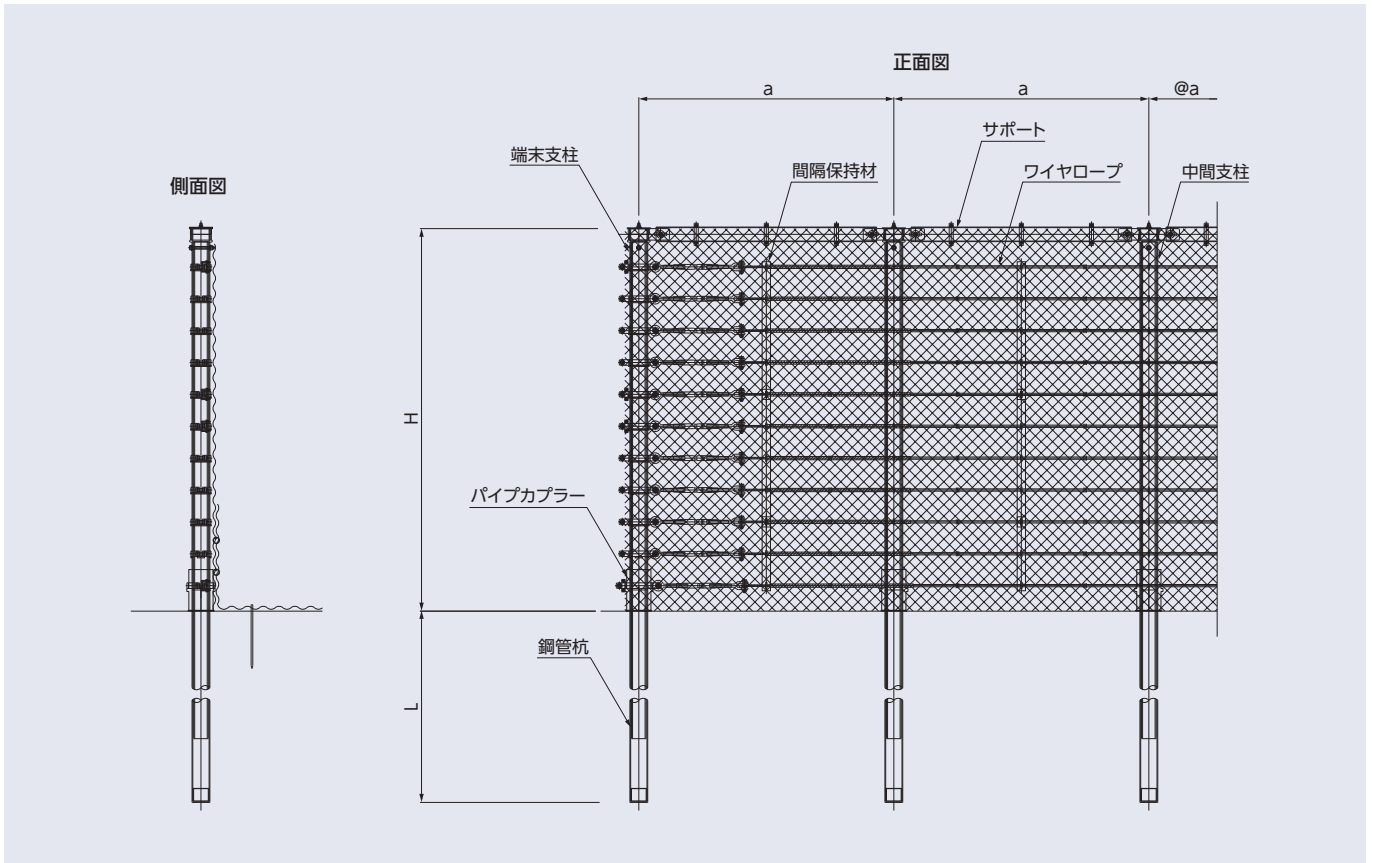
型式	柵高 (m)	横ロープ 使用・本数	金網 (mm)	支柱間隔 (m)	部材断面			対応落石 エネルギー
					中間・端末支柱	サポート	間隔保持材	
AGF-25-E	2.5	9	3.2φ×25×25	2.0~	139.8φ×6.0	114.3φ×4.5	4.5t×65	100kJ
AGF-30-E	3.0	11						
AGF-35-E	3.5	13						
AGF-40-E	4.0	15						

落石仕様

型式	柵高 (m)	横ロープ 使用・本数	金網 (mm)	支柱間隔 (m)	部材断面			対応落石 エネルギー
					中間・端末支柱	サポート	間隔保持材	
AGF-25-200	2.5	9	4.0φ×50×50	3.0~6.0	139.8φ×6.0	114.3φ×4.5	4.5t×65	200kJ
AGF-30-200	3.0	11						
AGF-35-200	3.5	13						
AGF-40-200	4.0	15						

※上記の柵高以外もお問合わせください。

構造図



商標について: アズガードフェンスは東京製綱株式会社の登録商標(登録6789182)です。



本社 エンジニアリング事業部

〒135-8306 東京都江東区永代2-37-28(湊澤シティプレイス永代)  
TEL.(03)6366-7788 FAX.(03)3643-7550

支店●札幌・盛岡・仙台・名古屋・大阪・九州 営業所●新潟・長野・北陸・広島・鹿児島  
エンジニアリングセンター●東日本・関西・北九州

<https://www.tokyorope.co.jp>

●代理店

支店・営業所の詳細

<https://www.tokyorope.co.jp/company/office.html>



※本カタログに記載された仕様やその他の内容は、品質・性能向上等のため予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。